

五峡の子

学校だより 1月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和5年1月10日(火)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

3年振りの〇〇



校長 出井 玲子

皆様、新年をお健やかに迎えることと思います。2023年は癸卯(みずのと・う)の年。十二支の一つ「卯年」は穏やかでありながら飛び跳ねるうさぎの様子から、温和で安全、飛躍の年と言われます。さらに、今年は、十二支とは別の十干では大地を潤す恵みの水と新たな生命が実を結ぶと言われる「癸(みずのと)」の年です。

さて、学校では昨年後半から、コロナ禍を工夫して新しい教育活動に取り組んで参りました。年末年始は、全国各地で様々な行事が新しい形で復活し「3年振りの〇〇」という言葉があちこちで散見されました。

私は、この冬「クリクラウン」の存在を知りました。「クリニックを訪問する道化師(クラウン)」の略で、NPO法人クリクラウン協会という組織の活動です。「全ての子供に子供の時間を！」を合い言葉に、臨床道化師(クラウン)が小児病棟を訪問します。コロナ前からあった組織ですが、感染予防対策を取って子供たちに寄り添い勇気付ける姿が注目を浴びています。様々な制限の中で入院生活をしている子供たちが思いきり笑い、主体的に遊ぶことができるようにクリクラウンは存在します。「また会いたいと思ってもらえるように曲芸を練習して工夫して訪問に臨み、また会えたと安心してもらえるように寄り添いたい。」ということ言葉に、クリクラウンは心理や医療に精通した道化師であると共に、子供を笑顔にするスペシャリストだとつくづく感じました。

「また会いたい」と「また会えて安心」に学校教育と共通する想いがあると学んだ冬休みでした。

本校では、今年は様々な「3年振りの〇〇」が懐かしい形で、または進化した形で実施できるよう、引き続き安全対策をとりながら教育活動を行っていきます。

癸卯の年のごとく、「努力が実を結び、飛躍する一年」にしていきたいと思っております。

保護者、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

～※～※～※～※～※～※～※～※～※～

学校評価へのご回答をいただきましてありがとうございました。

結果は、今後の「学校だより」にてご報告させていただきます。

～※～※～※～※～※～※～※～※～※～